#### 役員 (平成28年12月31日現在)

取締役 会長 工藤次郎代表 取締役 工藤英司取締役常務執行役員 工藤降晃

取締役執行役員 藤井 研児 (介護事業部長)

取締役工藤隆司

取 締 役 下山 秀弥 (社外取締役)

常勤監査役 庄司盛弘

 監
 査
 役
 八重沢 知正(社外監査役)

 監
 査
 役
 関係
 関係
 関係
 対象
 対象

執行 役員 秋澤 滋(経営管理部長) 執行 役員 田崎 功(建設事業部長)

執 行 役 員 小板橋 洋之(フローレンスガーデン事業部長)

執 行 役 員 白坂 義道 (建物管理事業部長)

#### 株式の状況 (平成28年12月31日現在)

発行可能株式総数 44,000,000 株 発行済株式の総数 13,312,200 株 株 主 数 990 名

#### 大株主 (平成28年12月31日現在)

株	注名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社トップ		7,121	53.49
工藤 英司		398	2.99
工藤 隆司		397	2.98
株式会社樹	<b></b> 浜銀行	391	2.93
工藤 次郎		355	2.66
工藤建設梯	株式会社	343	2.57
八重沢 知正	E	293	2.20
川本工業株	株式会社	158	1.19
株式会社書	永商店	142	1.06
戸田建商棋	株式会社	106	0.79



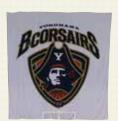
# B.League1部 横浜ビー・コルセアーズ とのパートナーシップ

当社は、プロバスケットボールチーム「横浜ビー・コルセアーズ」とのパートナーシップを締結しております。ビー・コルセアーズは横浜地域のスポーツタウン構想の一翼を担い、市民に【近い】球団を目指しているバスケットチームです。

「地域・社会振興」「青少年の健全なる育成」「障がい者

の自立」など積極的に貢献していく姿勢に賛同しビーコルセアーズを応援しております。

ホームタウンパートナーとして ホームゲームのチケット購入や 協替をしております。



#### 株主メモ

事業年度7月1日~翌年6月30日

期末配当金受領株主確定日 6月30日 中間配当金受領株主確定日 12月31日 定時株主総会 毎年9月

株主名簿管理人

三菱UFJ信託銀行株式会社

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081

連絡 先 TI3/

東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711(通話料無料)

上場証券取引所 東京証券取引所



# 工藤建設株式会社

神奈川県横浜市青葉区新石川4-33-10 TEL: 045-911-5300 (代表)







環境に配慮したFSC®認証紙と植物油インキを使用しています。

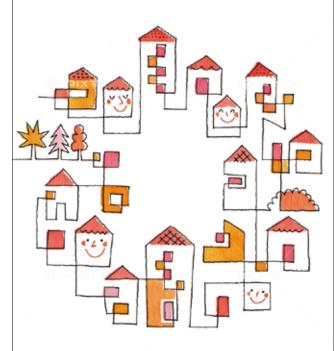


# **KUDO NEWS**

# 第46期 中間報告書

自 平成28年7月1日 至 平成28年12月31日











代表取締役 工藤 英司

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、ここに第46期中間期(平成28年7月1日から平成28年12月31日まで)の 業績の概要と、当社の取り組みにつきましてご報告申し上げます。

# ●売上高 ■中間 期末 (百万円) 20,000 18,647 19,050 17,698 (予想) 15,796 15,796 15,796 15,796 15,796 15,796 15,796 15,796 15,000 第43期 第44期 第45期 第46期

# お客様の感動を創造する生活舞台創造企業を目指してまいります。

### 国内経済及び建設・住宅業界、 介護業界について

当中間におけるわが国経済は、雇用や所得環境の改善が続くなか、個人消費に持ち直しの動きが見られ、緩やかな回復基調で推移しています。一方、中国をはじめとする新興国の経済減速や英国のEU離脱問題、米国の大統領選挙結果を背景とした為替の乱高下で金融資本市場が混乱するなど、経済の先行きは不透明な状況が続いています。

建設・住宅業界におきましては、企業収益の改善から 民間設備投資は増加傾向にあり、公共工事も高水準を維持するなど、受注環境は総じて堅調に推移しています。また低水準の住宅ローン金利や都市部を中心とした堅調な賃貸住宅需要もあり、新設住宅着工戸数は高水準で推移しています。一方で、常態化しつつある建設労働者不足に伴う施工体制の安定確保等、取り巻く環境は依然厳しい状況が続いております。

介護業界におきましても、介護サービスの需要は確実 に高まりつつあり、介護職員の安定確保が引き続き経営 上の重要課題となっております。

## 当中間期の業績及び 配当について

このような情勢のなか、当社は、神奈川・東京を中心とした営業エリアにおいて、お客様の感動を創造し、人生のさまざまなステージを支える生活舞台創造企業を目指して事業展開を図ってまいりました。

この結果、当中間期における業績は、売上高78億25百万円(前年同期比17.9%増)、営業利益3億15百万円(前年同期比16.2%増)、経常利益2億71百万円(前年同期比3.5%)、中間純利益は1億70百万円(前年同期比2.7%減)となりました。

なお、当中間期におきましては、前期末にご報告させて 頂いたとおり、配当を見送らせていただき、年間目標を達 成することで当期末配当予想を5円とさせていただきます。

当社を取り巻く環境は厳しい状況にありますが、事業競争力、収益力の一層の強化に向け一丸となって努力を続けてまいりますので、株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援、ご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

平成29年3月





#### 数字で見る工藤建設

#### 事業内容

企画・提案・建設を一貫したサービスで提供している建設事業、24時間365日住まいの安心を提供している建物管理事業、「地下室付住宅」をはじめ理想の住まいづくりを行う戸建住宅事業、安心と質の高いサービスを行う介護事業まで、人生すべてのライフステージに関わる「すまい」を提供している「生活舞台創造企業」です。





# 建設事業



売上高 42億78百万円 (37.1%増) 営業利益 3億52百万円 (85.3%増)



建設部門、戸建住宅部門ともに、豊富な受注工事残高を背景として 工事の進捗が順調だったことや、資材費・労務費が安定していたこと から、完成工事高・完成工事利益ともに計画を大幅に上回りました。 以上の結果、2部門を合わせた当事業の売上高は42億78百万円 (前年同期比37.1%増)、営業利益は3億52百万円(前年同期比85.3%増)となりました。

# 不動産販売事業



売上高 **34**百万円(8.0%減) 営業利益 **1**百万円(92.9%減)

当中間期における不動産販売は、静岡県三島市の事業用固定資産の売却のみとなりました。

以上の結果、当事業の売上高は34百万円(前年同期比8.0%減)、 営業利益は1百万円(前年同期比92.9%減)となりました。

## **#**

# 建物管理事業



売上高 18億24百万円 (10.0%増) 営業利益 1億30百万円 (49.4%増)



建物管理部門では、賃貸事業部門の収支は店舗を中心に空室率削減が遅れたことから予定を下回りました。一方、大型の大規模修繕工事が順調に推移したことにより、売上、利益ともにほぼ計画通りとなりました。

以上の結果、当事業の売上高は18億24百万円(前年同期比10.0%増)、営業利益は1億30百万円(前年同期比49.4%増)となりました。

# 介護事業



売上高 16億88百万円 (7.4%減) 営業利益 73百万円 (62.6%減)



介護部門では、有料老人ホーム10施設の入居者数が年度計画に比較して低調に推移した一方で、退去者数が想定以上となりました。 以上の結果、当事業の売上高は16億88百万円(前年同期比7.4%減)、営業利益は73百万円(前年同期比62.6%減)となりました。

#### **3**

#### 財務データ

(第45期)

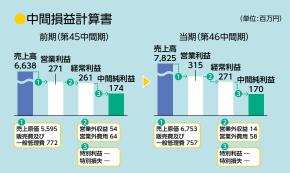
#### 中間貸借対照表 (単位:百万円) 資産 負債·純資産 13,027 13,027 11,955 11,955 流動資産 流動負債 流動資產 流動負債 6.489 6,783 5.448 5.737 固定負債 固定負債 2,976 2,973 用定資産 固定資産 6.506 6.538 純資産 純資産 3.240 3.271 前期末 当中間期末 前期末 当中間期末

資産の部の主な増加要因は、現金及び預金と未成工事支 出金によるものです。また、負債の部の主な増加要因は、 未成工事受入金と借入金によるものです。

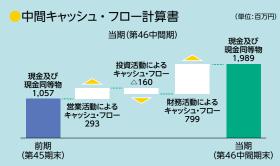
(第45期)

(第46期)

(第46期)



建設事業における新規おける新規受注工事の向上により売上は増加し、営業利益3億15百万円を計上しました。



財務活動の獲得した資金は7億99百万円となり、長期借入による収入6億、短期借入の増加による収入9億7百万円です。

より詳細な情報は



工藤建設





Vol.7 庄司 盛常勤監査役



# 社内経験を 監査業務に活かし 事業の健全な発展に 寄与します。

●Profile 庄司 盛弘 (しょうじ・もりひろ)

1963年生まれ。1992年工藤建設(株)入社。工事課長、総 務部課長を経て、2011年より建物管理事業部課長と経営 管理部課長を兼務し、2016年より常勤監査役就任

スで運営されていると感じます。その中で私は社内出身の

立場から、これまでに得てきた知識を活かし、社外役員の

### 企画・管理業務での経験を活かし、 社外監査役と連携

私は1992年、総合企画室のスタッフとして入社し、株 式上場に向けた体制整備に携わった後、総務、工事部門 および不動産関連の管理部門に従事してきました。この たびの常勤監査役への選任は、各事業部で企画・管理 に関わってきた経験を監査業務に活かすことが期待され たものと受け止めています。

当社は今回の監査役人事で、監査機能を拡充すべく従 来の3名から4名に監査役を増員しました。近年、上場企 業におけるコーポレートガバナンスの強化が求められる 中、監査役が果たすべき役割がますます大きくなっている ことを自覚し、社外監査役との連携によりステークホル ダーの皆様の負託に応えてまいります。

## 取締役会で求められる外部視点からの 提言をサポート

常勤監査役としての日常業務は、稟議書その他の決裁 書類や業務報告書の確認、重要会議への出席などを中心 に、期末監査に向けて証憑書類のチェックや現場の視察・ ヒアリングも随時行っていきます。会議は、取締役会・監 査役会が月例で、会長・社長と事業部長の連絡会議が毎 调開かれ、各事業部の全体会議にも出席します。

取締役会は、社外取締役・社外監査役による外部視点 からの意見が積極的に求められるなど、オープンなスタン

提言をサポートするよう努めています。 当社が属する建設業界は、人手不足を背景に過重労働 を招きやすい状況にあります。介護事業の現場も同様で、

人の異動が多いという実態があります。そうした状況を是 正・改善していくためには、第三者的な立場からのチェッ クが不可欠です。社会変化や行政の動きを踏まえて迅速 に対応し、当計事業の健全な発展に寄与すべく、監査機能 を十分に発揮していきたいと考えています。

## 持続的成長への取り組みを自らの役割を 通じて支援

当社は、前期業績において売上高・利益ともに大幅な 増加を果たしました。しかし主力の住宅関連分野は、市 場環境の変動による影響が大きく、当社が持続的な成長 を遂げていくためには、業績の安定化に向けた事業構造 の確立が求められるでしょう。

また、2015年6月から適用されたコーポレートガバナ ンス・コードへの対応も重要な課題です。

地域密着型で事業展開する当社には、グローバルに事 業展開する巨大企業と同等に対応することが難しい項目 もありますが、株主ならびに投資家の皆様のご支援に応 えるべく、精進してまいりたいと考えております。

今後、それらの取り組みを当社が着実に実行できるよ う、常勤監査役としての役割を通じて支えてまいります。

#### **₩**

#### 会社概要/株式情報

会社概要 (平成28年12月31日現在)

号 工藤建設株式会社 立 昭和46年7月1日

代表者の氏名 工藤 英司

業 年 度 毎年7月1日から翌年6月30日まで 従業員数 454名(男子238名、女子216名)

#### 事業所

本社 神奈川県横浜市青葉区新石川4-33-10 TEL.045-911-5300 (代表) / FAX.045-911-3960

#### 東京支店(建設事業部)

東京都港区芝5-5-2 原野ビル3F TEL.03-5419-1792 / FAX.03-5419-1793

#### 練馬営業所(フローレンスガーデン事業部)

東京都練馬区下石神井1-2-27 TEL.03-5923-0255 / FAX.03-5923-0267

#### 港北ニュータウン営業所(建物管理事業部)

横浜市都筑区茅ヶ崎中央56-12 TEL.045-415-8001 / FAX.045-415-8033

フローレンスケアたかつ

フローレンスケア美しが丘 川崎市高津区久末1744-2 横浜市青葉区美しが斤4-43-4

フローレンスケアたまプラーザ

川崎市宮前区犬蔵2-17-65

フローレンスケア港南台 横浜市港南区港南台6-5-13

フローレンスケア宿河原 川崎市多摩区宿河原6-12-29

フローレンスケア聖蹟桜ヶ丘 東京都府中市日新町5-53-1

フローレンスケア芦花公園 東京都世田谷区南烏山2-32-28

フローレンスケア荻窪

東京都杉並区荻窪2-4-29

フローレンスケア横浜森の台 横浜市緑区森の台12-12

フローレンスケア宮前平 川崎市宮前区宮前平2-9-2

川崎市高津区下作延3-6-2

フローレンスケア溝の口

